

アスベスト(石綿)とは？

アスベストは、天然の繊維状鉱物で「せきめん」「いしわた」とも呼ばれています。単一の鉱物ではなく、いくつかの種類がありますが、そのうち白石綿（クリソタイル）が最も多く使用されています。

アスベストは、熱や薬品に強く、摩擦に耐えるなどの特性を持っていることから、建築材料や自動車の部品など多くの製品に使われてきました。

一方、アスベストは繊維が極めて細いため、それが飛び散って人が吸い込むことにより健康被害を招くおそれがあります。

このため、平成7年（1995年）には有害性が高い茶石綿（アモサイト）と青石綿（クロシドライト）を含む製品の製造・使用が原則禁止され、平成16年（2004年）にはその他の大部分のアスベスト製品も製造等が禁止されました。

アスベストは、そこにあること自体が直ちに問題なのではなく、「飛び散ること」、「吸い込むこと」が問題となるため、労働安全衛生法や大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律などで飛散防止等が図られています。



白石綿
(クリソタイル)

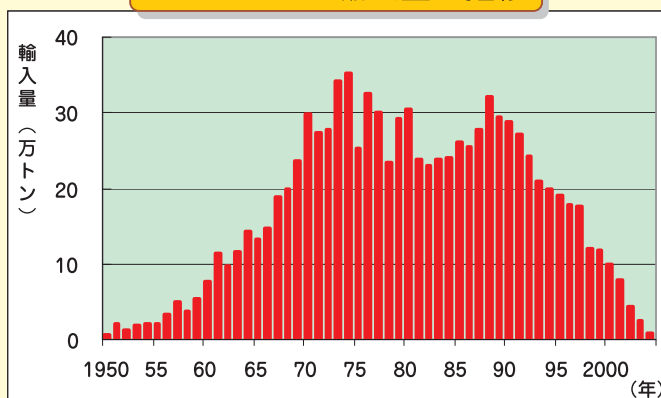
(社)日本石綿協会提供

アスベストはどこに使われているの？

アスベストはさまざまな用途に使用されてきましたが、特に建材に多く使われてきました。わが国では、1970年代から1990年代にかけて多くのアスベストが輸入されていますが、これらの約8割が建材に使われたといわれています。

建材以外には、防音材、断熱材、保温材、自動車のブレーキパッド、ブレーキライニングなどのほか、自転車（バンドブレーキ）、ルームエアコン・石油暖房機・石油給湯器・ガス温水器・24時間風呂・トイレ（それぞれのパッキン）、家庭用ミシン（モーター部品）などの家庭用品の部品にも使用されてきました。

アスベストの輸入量の推移



出典：財務省
輸入統計等